

## “Everyone Plays, Everyone Learns”

### 『アジアの子どもたちにサッカーボールを届けるプロジェクト』

#### 第一弾 カンボジアのプノンペンにて贈呈式を開催

日本ユネスコ協会連盟は、スポーツの交流をとおして世界に平和の輪が広がることを願い、1989年から実施している教育支援「ユネスコ・世界寺子屋運動」の一環として、『アジアの子どもたちにサッカーボールを届けるプロジェクト』を開始しました。

このプロジェクトは、子どもたちのサッカーの普及を通じ、アジアのサッカーレベルの向上を支援する日本サッカー協会と「ユネスコ世界寺子屋運動くるりんぱプロジェクト」< 1>を推進する電通グループと共同で実施するもので、スローガン“Everyone Plays, Everyone Learns”には、「一人でも多くのアジアの子どもたちに、サッカーにも勉強にも励んでもらいたい」という願いが込められています。

10月9日には、本プロジェクト第一弾の贈呈式がカンボジア・プノンペンのオリンピック・スタジアムで開催され、ユースナショナルチームに練習用ボール100個が贈られました。カンボジアでは4年ぶりにサッカーリーグが再開。サッカー人気が高まっており、贈呈式後に行われたリーグ最終戦には観衆5000人が集まり、スタジアムは熱気に包まれました。



今後、アジア19カ国の子どもたちにサッカーボールを贈る予定です。

#### 1 ユネスコ世界寺子屋運動くるりんぱプロジェクト

「ユネスコ・世界寺子屋運動」のシンボルマーク「くるりんぱ」を使用した展覧会などを通して、同事業の認知度を高めるプロジェクト。「くるりん」とひっくり返すと「ぱっ」と変身するユニークなビジュアル「くるりんぱ」には“ものの見方はひとつじゃないよ”というメッセージが込められています。

詳しくは、<http://www.terakoya-kururimpa.jp/>